

すだちだより



3月

平成31年3月6日 第261号

マスコットキャラクター「ペン太 ペン子」

発行 徳島市教育研究所 徳島市幸町2丁目5番地 Tel.621-5432

すだち学級 Tel.623-5150 E-mail:sudachi@tgn.tcn.ne.jp

調理実習

2月1日(金)、調理実習を行いました。今回のメニューは節分にちなんだ「恵方巻き」と「畑の温野菜スープ」。スープの具材には、すだち学級の畑で育てたねぎ、白菜、キャベツを入れました。自分たちで収穫した野菜で作るスープの味は格別でした。恵方巻き作りでは、恵方巻きに入れる具(かにかま、卵焼き、きゅうり、魚肉ソーセージ等)を自由に選び、巻きすで巻いていきました。盛りつけも工夫していました。



美術実習

2月8日(金)の美術実習では、「贈るメッセージ」というテーマで、作品を作りました。写真立ての中に、巣立ち生(中学3年生)に向けてのメッセージや絵をかきました。グルーガンを用いてビーズやストーンを付けたり、リボンやシール等を使って飾り付けをしたりして表現しました。



音楽実習

2月22日(金)、徳島県内を中心に活動している音楽活動グループ「Overlap(オーバーラップ)」の皆さんにお越しいただき、ライブを鑑賞しました。パーカッションやピアノ、コントラバスの共演に通級生のみんなは引き込まれていきました。ライブの途中で、楽器の紹介やイントロクイズ、通級生も参加してのトーンチャイムの演奏もあり、楽しい時間を過ごしました。



3月行事予定

1日(金) ジョシユアタイム(英語教室)

12日(火) 巣立ち式(午前10時から午前10時40分まで)

15日(金) ジョシユアタイム(英語教室)

20日(水) すだち学級修了式



第4回とまり木の会

2月21日(木)、鳴門教育大学大学院 吉井健治先生をお招きし、「不登校の訪問臨床—つながりの回復—」というテーマでお話をいただきました。不登校の子どもが友達と関わったり外に出たりして、「つながり」を失わないようにすることが大切で、「つながり」を回復するための支援や方法について教えていただきました。その後の交流の時間では、講演を聞いての感想や意見を伝え合ったり、参会者の日々の悩みや思いを共有したりしました。

今回が今年度最後の「とまり木の会」でした。多くの皆様にご参会いただき、ありがとうございました。

年度末を迎えて

すだち学級では、「学習」「実習活動」「行事」などを通して、集団適応力を高め、学力を補充しながら、学校復帰や社会的自立をめざせるよう支援してまいりました。

この1年間、保護者の方々や学校の先生方、学生ボランティアや実習生の皆さん、関係諸機関等の多くの方々からご支援やご協力いただきましたことに心より感謝申しあげます。また、来年度のスタートを、新しい気持ちで迎えらることを願っています。

なお、来年度のすだち学級入級につきましては、本人や保護者の方、学校の先生方でよくご相談のうえ、手続きを進めていただきますようお願いいたします。来年度の開級日は、4月9日の予定です。



いきいき未来サポーターより

*** 『リフレーミング』について Part2 ***



いきいき未来サポーターの、熊谷 佑美 (くまがい ゆみ) です。

前回、『リフレーミング』(ものごとの見方や視点を変えること) についてご紹介しました。

リフレーミング

作業がおそい → じっくり丁寧にする
飽きっぽい → 好奇心が強い

このように、見方によっては、短所(わるいこと) だと思っていたことが 長所(いいこと) にもなるのです。

『リフレーミング』は、自分の長所と短所を考える時に使えます。自分の短所(わるいところ)については、どんどん思い浮かぶ人が多いのではないのでしょうか。ただ、自分の長所(いいところ)というのは、なかなか思い浮かばないものです。特に日本人は自分の長所を言うのが苦手とされています。入試の面接練習の時に、「自分の長所がわからない！」…そんな時、短所だと思っていることをリフレーミングしてみてください。今までは見えなかった長所が見えてくるかもしれません。

自分の性格だけでなく、身近な人の性格や、出来事についてもリフレーミングはできます。

また、リフレーミングをした時の答えは一つだけではありません。正解も不正解もありません。一人で別の見方をすることが難しい時には、だれかと一緒に考えたり、答えを出し合ったりするのもおすすめです。新たな一面が見えたり発見があったりするかもしれません。